

県内活動事例お知らせ紹介

<p>お知らせの タイトル</p>	<p>県内の活動事例を紹介します。(2021. 12)</p>
<p>概 要</p>	<p>山形県内の多面的機能支払交付金における特徴的な活動事例を紹介します。各活動組織の参考になれば幸いです。</p>
<p>内 容</p>	<p>1. 世代間交流による資源向上（共同）活動の取組 白岩地区・農地・水保全管理会（寒河江市） ★植栽から遊休農地の有効活用等、世代間交流を深める活動を積極的に実施。非農家の参加者が増加し、地域コミュニティが構築。共同活動により、農地を保全していく重要性を認識し、地域全体の取組意欲が向上。</p> <p>2. 田んぼダムによる防災・減災の取組 特定非営利活動法人みさと田園クリエイターズ（天童市・山形市） ★平成26年7月に大規模な浸水被害が発生したことを契機に、防災・減災の強化を目的とし田んぼダムの取組を検討。数年間の試行を経て令和元年度より取組を開始、継続している。</p> <p>3. 地域共同活動による農道の除排雪 原口地域保全会（上山市） ★本地区は果樹が多く、冬期間降雪があった際は倒壊防止の雪下ろしが必須となっている。平成28年の豪雪被害を契機に効果的な除排雪対策を検討。農道の除排雪に取り組んでいる。</p> <p>4. 広域化を契機とした長寿命化活動の一部を他事業へ移行 鍋田広域資源保全隊（南陽市） ★多面的機能支払交付金の長寿命化対策活動により計画的に水路の更新を進めてきたが、要望水路が多く調整に苦慮していた。広域活動組織になる事を契機とし一部の水路を農地耕作条件改善事業で整備。1年で更新が出来た。</p>